

名古屋名南ロータリークラブ

■承認/1991年3月8日 ■例会日/火曜日・PM6:30 ■例会場/名古屋マリオットアソシアホテル
 ■会長/山本 郁矢 ■幹事/入谷 直行 ■会報・雑誌・広報委員長/細井 俊男
 ■事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル 2202号
 TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために
 2011-2012年度 RI 会長 カルヤン・パネルジー

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail info@meinan-rotary.com

第1001回

2012年5月22日(火) 曇り 第42回

斉唱 我等の生業
 出席 会員63名(出席率算入人数56名)
 出席44名 出席率78.57%
 前々回補填率96.43%(5月8日分)
 ゲスト 健康力 塾長
 井上 富夫さん
 ビジター 名古屋南 RC
 丸山 和紀さん

副会長あいさつ

副会長 伊藤 博昭さん

こんばんは。本日は、会長代理ということでお話させていただきます。本日のゲストは、健康力塾長 井上富夫さん、名古屋南 RC 丸山和紀さんのお二人をお迎えしております。どうぞ、ごゆっくりご歓談下さい。



私は、病院を退院して17ヶ月が経ちますがまだまだ体力は十分に戻っておりません。私と当クラブの水野さんとは、中学・高校を通じての先輩・後輩で私の方が一つ下になります。今回、同じような種類の病気を患いました。

昨年1月、山梨県の増富温泉に参りました。この増富温泉は、名古屋から車で3時間30分、JRの特急とバスを乗り継いで4時間30分、標高1,100mぐらいにある山奥の温泉です。秋田県の玉川温泉と同じぐらいラジウムの量があるということで大変人気があり、なかなか宿が取れませんでした。こちらの温泉の入り方は少し変わっていて、熱いお風呂に入った後に、20℃前後の冷たい温泉に入るというものです。それを繰り返し行きます。温泉の旅館の裏、5分程登ったところに、小さな原泉の風呂があります。この風呂は、石垣で出来た蛸壺のようなもので、二人で立って入るといっぱいになってしまうほどです。雪深い中、5分程登りましたので、入った時には温泉のお湯が体を刺すように痛かったです。それでも、忍耐・我慢・努力ということで、じっとしておりました。やがて私どももお迎えが参ります。多分、あの世では水野さんとは行き先が違います。私が通るときに手招きをして「こっちへ来い」ということの無いように、固くお願いし、私のお話とさせていただきます。ありがとうございます。

幹事報告

幹事 入谷 直行さん

1. 来週5月29日は、環境例会ということで外部にて行う予定でしたが、16階「アイリス I」にて通常通りの例会とさせていただきます。お間違えのないようお願い致します。

ニコボックス

◆ 本日は健康力塾長 井上富夫さんによる外部卓話です。健康についてのお話し楽しみにしています。よろしくお祈りします。

加藤 英敏さん 川瀬 悟さん 江村 雅夫さん
 浅井 浩さん 野々村憲吾さん 白銀 義昭さん
 宮本 浩史さん 川辺 清次さん 伊藤 圭一さん
 杉本 勇さん 中村 勝さん 本多 利郎さん
 安藤 修さん 坂田 信子さん 三島多恵子さん
 長尾 浅吉さん 森田敏二三さん 有川 英敏さん
 大平 明子さん 林 隆二さん 細井 俊男さん
 山本 誠一さん 鈴木 一博さん 榊原 和美さん
 牧野 好弘さん 中西 芳子さん 久米 伸治さん
 伊藤 博昭さん 三浦 隆さん 猪村 美之さん
 江松 央統さん

本日合計 33,000円 累計 1,388,000円

◆ 先日の1000回記念例会に寄せて 小山 慎介さん

アンチエイジングエクササイズ

■環境保全・保健問題委員会 委員長 中村 勝さん

外部卓話

■国際奉仕委員会 委員長 浅井 浩さん

皆さま、こんばんは。本日は、外部卓話で井上塾長にお越しいただいております。私の糖尿病を治していただいた恩人です。

昨年9月頃、糖尿病がこれ以上悪化すると入院と言われ、その時に井上塾長とお会いしました。それがきっかけで、今日まで薬を服用しなくても無事正常な状態になる事が出来ました。私の血圧は、160の90というものでしたが、今は、130の70になりました。江村さんも190の100ぐらいだったと思いますが、今は130の65というこ



とになりました。人間の一番の原点の血液のところ
で、血圧が正常になるということは大変良いこと
であり、また、特別な減食をしたりアルコールを控
えたりしませんでした。体重が10kgほど落ちまし
た。

このお陰で、ゴルフの時もボールがよく飛ぶよ
うになりました。このお陰と感謝しお話ししたら、
本日快くお越し下さいました。皆さまのテーブル
の真ん中に本がございます。この本は、1冊1,000
円ですが、ご関心・ご興味のある方は是非ご購
入頂きたいと思ひます。それでは、井上先生を
ご紹介したいと思ひます。宜しくお願ひします。

■健康革命 健康力 塾長 井上 富夫さん

井上です。本日は、健康力 塾
長という名前で来ております。

昨日、金環日食があったので、
医療関係のお話をする前にそのお
話をしたいと思ひます。パネルに
「光子論が倫理を突く」と書いて
あります。出力がエネルギーとい
うことはわかっていますが、エネ
ルギーというものは現在わかって
いません。質量
積を変化させているエネルギー
とは何か、ということが世界中
でまだわかっていないのです。



例えば、温度計の赤い液体があり
ますが、温めると膨張し、冷すと縮
小します。夏に線路が太陽光で伸
びてしまう、という変化をもたら
すエネルギーがわからないわけ
です。それを私は「光子素粒子」と
いう理論を発表しております。「時
間は光速」というアインシュタ
インが1905年に発表した理論も
、光速というのは可視光線の光
であって、最速でない、時間は
変化しているということを2005
年に発表しています。「エネルギ
ーの技術」、これは量子エンジ
ンという特許を取っています。

これは何かと言ひますと、酸素と
水素を燃やした後にエネルギーを
取るわけです。まだテストの段階
ですが、ホンダやトヨタが燃料電
車を発車しています。東邦ガスは
、ガスから水素を取り出して水素
ガス燃料で燃料電池を作っています
。酸素と水素を燃やしてエネルギ
ーを取った後の排ガスは、蒸気
になります。この蒸気が酸素と水
素を分解しているわけです。この
技術の特許を持っています。これ
で何が起きるかという、電気代
がタダになります。原子力も、
原油も要らなくなります。工場
でも電気代が要らない工場、自
動車は無給油で走れる、飛行機
も無給油で飛んでいくという事
になります。

例えば、今サウジアラビアで2兆
円ぐらいの電気代を使って、海水
から淡水を作っています。これは
、日本の技術です。一番大きな
ものは、電気代です。電気代が
タダであれば、水が出来るわけ
です。中国の奥地の砂漠で水が
なく、そこに海がないので海水
から分離できないということに
なります。これから皆さま夏に
なるとエアコンを使ひますよね
?エアコンの後ろからポトポト
お水が出ています。電気代が
タダであれば、砂漠で水が
出来ます。ですから、世界で水
の問題が起きていますが、この
問題が解決します。アフリカ
の熱帯で空冷していれば、寒
冷地の食物も出来るという事
です。今、サウジアラビアと
オマーンの政府に開発の申し
出がしてありますが、例えば、
アラビア半島で食糧生産が出

来たら、世界の人口が70億、
100億になっても大丈夫であ
ろうと思ひます。その本には色
々と書いてありますが、電気技
術、医療の技術、感染症の技
術があります。エンジンを活性
空気でエンジンの中のカーボ
ンを焼き壊す技術を、エンジ
ンドクターで事業化してあり
ます。空気中に活性空気を送
り込むと、感染症がなくなり
ます。

私は、エネルギーのほとん
どを開発しました。これを実用
化していくと、日本は鎖国し
てもほとんどの食糧は生産で
きる、エネルギーは国内で賄
える、病気になるということ
になります。今、国の医療費
が40兆円を超え51兆円に
近づいています。毎年1兆円増
えると言われてはいますが、病
気になるから医療費が掛かる
わけです。

もう一つ、十数年やってきて
、これまでほとんどの難病を
回復してきました。国際和合
医療学会の発起人もやって
おります。国際融合医療協会
にも参加しています。これは
何かと言うと、西洋医学では
5,000ぐらいの難病がある
わけです。この難病は、医学
では治らないということなの
です。昔から色々な先人の知
恵で、漢方あり、和漢あり、
インドへ行くとアイズレイダ
ーがあり、薬草があり…と、
数千年、数万年前には色々
な知恵があったわけです。

ロックフェラーが医療革命
した時に、「医者でないと扱
えない薬は、許認可しないと
扱えない。」ということで、
みな排除されたのです。それ
を今、復活しようとしていま
す。一つは漢方で、大学で使
われ始めています。これは今
お手元にある本ですが、『全
世界の医療を仕事とする関係
者への贈りもの』で、医療
関係者、病院の方に提供す
る教書として発行していま
す。『健康革命』と言って、
「医療を使わずに健康にな
りましょう」という発想です。

私の利益的な事は最後のペ
ージに出ております。二つの
学会、それから、日本ビジネ
スインテリジェンス協会の
先端技術担当の理事をして
おります。ほとんどが、先生
や元官僚の方達を中心とな
っている会です。今、300
人ぐらいの会員がいます。技
術系は、私とドクター中松
先生がやっております。今回
「健康力」と命名した塾を開
いたわけですが、健康対策
の健康革命を普及して、世
界中から病気をなくし、医
療費の問題もありますが、ど
のご家庭でも誰が病気になる
ともとても悲しい事なので、
それをなんとか避けたいと思
っております。

私は、基礎物理を研究して
おります。物理のところで
んをいくと、宇宙の始まり
は何ぞやという話になる
わけです。10年ほど前、ホ
ーキンス博士がビッグバン
は突然大きな爆発で宇宙が
出来たという理論を発表さ
れ、それがノーベル賞にな
りました。ですが、その後間
違いだったということで取
り下げられています。イン
フレーションというマイナ
ス10の34桁か35桁の
非常に小さなエネルギー
が集まってきて、周りが真
空になり、その為宇宙が爆
発したという案もあります。
実は、ホーキンス博士の
この理論も、エネルギーあ
りきなのです。では、その
エネルギーはどこから来
たのか。私はこのような理
論を持って発表しています。

小さな世界に、赤いのが
エネルギーでボトン、黒
いのが反物質のブラック
ボトンです。物質と反物質
が無から有は出来たけど、
片方はエネルギーで片方
は反エネルギー、言い換
えれば物質と反物質です。

良く似たものが、銀行へ借金に行くとしします。100万円借金をすると、100万円の札束が手元に入ります。でも、銀行の中には私の100万円の借金があるわけです。ですから、無から有はそのように出来るわけです。どんどん借金をすると、ビルや建物など色々なものが出来るわけですが、銀行の中では借金がどんどん出来るわけです。最初は小さなものが、ドミノ倒しのように一気に広がっていき、ドミノ倒して倒れなかったものが星であり銀河である、という理論を持っています。我々の世界はエネルギーの世界ですから、エネルギーの高い低いはあるけれど、反物質はないという理論で発表しています。これが、光子素粒子論の一つです。

では、病気にならない健康対策をこれからお話します。私は昭和18年生まれですので、前立腺がんになりやすい年齢です。何故かと言う事例です。井上ひろしさん、75歳。I-PSSというマーカーが、前立腺がんのマーカーは4以下が健康、4以上で10ぐらいあると手術もしくは、抗がん剤を打つことになります。それが、2007年6月27日、井上さんはマーカーが9.5だったのに放置していました。去年2011年の6月8日、I-PSS数値が24.4になってしまい、検体から癌が検出され、完全に癌になってしまいました。7月8月に、皆さまご存知の陶生病院で抗がん剤治療を始めました。9月になり、全身に蕁麻疹のような吹き出物ができて眠れないというお話を聞きまして、抗がん剤治療を止めて、私が開発した機能性のセラミックにした玉を入れて沸かした風呂に入り、その玉を使って機能性の白湯を作るというをしました。先程のお話にもありました、ラジウム鉱泉や玉川温泉もそうですが、機能性温泉で治ることもあるわけです。

それを解明して使い、今年5月5日に検査をして、5月6日の検査票は数値が0.1です。お風呂に入って白湯を飲んだだけなのにこんな数値が出ました。病気というのは何故病気になるのか、また、どうすれば治るかが解っていれば難病というものはないのです。癌はほとんど治ります。治ると言うのは、自分の力で治るのです。自己治癒力という言葉をお聞きになったことがあると思いますが、機能性温泉に入ると何が起きるかということです。細胞は再生するわけです。皮膚では1ヶ月、臓器では平均3ヶ月ほどで再生します。寿命があるのです。寿命があって生まれ変わります。生まれ変わるときには、設計図であるDNAの設計に従って次の細胞を作っていきます。その細胞が傷むということは、細胞内が汚れているということになります。設計図の狂っているものが場合によっては再生するときに死んでしまいます。

もう一つ、赤ん坊で生まれて成人になったら基本的には細胞の数は増えません。再生するときにDNAが毀損してしまい、再生が止められ、止めた機能がまた再生してしまうのが癌です。だから、一つの細胞が増えていきます。起きないことが起きるわけです。細胞内にお水がないから細胞内の代謝が出来ず（新陳代謝）流れていかない→細胞が汚れる→DNAが毀損する→癌になる、というわけです。

何故、機能性温泉に入ると治るのか。それは、機能性温泉に入ると体の中に短い波長のエネルギーが入ります。体は塩水で出来ており、3%~5%の塩水

濃度があります。塩水で出来ていると言われる理由は沢山ありますが、例えば電解質。お塩を入れたら電流が流れる、神経が流れるのです。胃は胃酸と言いますが塩酸です。白血球・リンパ球も塩酸です。塩酸で物を粉々にするのです。

伊藤さんが入った温泉で何が起こったかというところ、塩水のところに機能性温泉のエネルギーが入り、体内が希塩酸状になります。これが、自己治癒力の一つです。白血球・リンパ球の塩酸値を高めることも、自己治癒力です。これは今までわかっていなかったことです。細胞が生まれ変わり、生まれ変わった瞬間が一番弱いのです。エビやカニが甲羅を脱皮するような感じです。例えば、白くまは北極で氷の上に子供を産みます。人間が同じように産んだら、すぐに死んでしまいます。産まれても生きていけない環境で産まれると死んでしまうのです。がん細胞は、生まれ変わりますが、生まれ続けて死ぬ条件であれば死んでしまいます。

玉川温泉で治る人と治らない人がいます。何故かと言うと、約3ヶ月で順番にがん細胞が再生するわけです。100個あるがん細胞の1個が死んでしまうと、最後の100個目が死ぬのに約3ヶ月掛かるのです。玉川温泉で10人に1人は治りますが、残りの9人は治らないのです。それは、3ヶ月入っていないからです。癌が治る、治らないというのは、特別な抗がん剤をやらなくても、がん細胞は生殖細胞より弱いので、希塩酸状のところに赤ちゃんのようにがん細胞が生まれると、その場で死んでしまいます。

通常、細胞は再生しても希塩酸状では死にませんが、がん細胞は弱って死ぬ、というわけです。この症例では、お風呂に入って、毎日1ℓの白湯を飲んだだけです。白湯を飲むことによって細胞内がきれいになります。歳を取ってくると成人病が起きます。癌もそうですが、新陳代謝が出来なくなる体になるからです。新陳代謝が何故出来ないかというところ、我々の腸に問題があります。口から水を飲み、腸から栄養分を取るわけですが、腸には約100兆個のバクテリアがいます。そのバクテリアが腸に付いたカスを日々栄養として食べているわけです。薬を飲んだり、お酒を飲んだりしてバクテリアが段々と死んでいくので、腸の30~40ミクロンの穴が埋まったり、狭くなります。そうすると、水が入っていきませんので、色々問題が起きます。血圧の問題では、血圧の中に水がないので、汚れた川のように血液はドロドロになります。成人病を解決するには、まず腸の汚れを取らなくてはいけません。腸の汚れを取るには、白湯を飲むことが良いです。昔から、老人や病人には湯冷ましを飲ませるようにと言われてきました。湯冷ましと、白湯と、冷たい水…何が違うのか?ですが、例えばお湯で洗濯するのと、冷たい水で洗濯するのとでは、どちらが汚れを取れるかとなると、当然お湯のほうが取れます。お茶やコーヒーではいけないのか?と聞かれますが、白湯で洗濯をするのと、お茶やコーヒーで洗濯するのではどちらが汚れを取れるのかと反対に質問しますが、必ず白湯のほうが取れるのです。

病気の原因は、腸の汚れなので、汚れを取るには汚れが取れるような事をしなければなりません。中国禅寺でも何千年も前からやっていますが、沸騰して5~6分経過した白湯を、温かいうちに飲むので

す。これで血液は治ります。血液がドロドロだと心臓が一生懸命圧を上げないと血液が流れていかないので、血圧が上がるのです。血液がサラサラになると、血圧は早くて1ヶ月ほどで下がります。血液がサラサラになると、血管などの汚れが付かない、体の中の不老物（代謝物）がきちんと流れていきます。病気の原因は、代謝物が溜まることです。

例えば、漢方薬、薬草など諸々の薬は、基本的に代謝機能の衰えたものを流していく事です。体の中の代謝物で一番多いのは、栄養分を燃やした酸化物です。それともう一つあります。先程、細胞が再生すると言いましたが、必ず再生した後の死骸が出ます。60兆個の細胞が体にあるわけですが、簡単に計算して2ヶ月で全て変わると、1日に1兆個の細胞が変わることになります。1兆個の細胞のカスが、皮膚の垢のように体の中に生まれます。これが代謝物の一番大きなものです。体は代謝物を流すのに何をしているのかというと、白血球が流れてきて粉々にします。それをリンパへ流します。リンパというのは下水のようなものです。下水が流れにくいと、リンパ球が粉々にします。それが体の仕組みですが、その時に水がないと流れていかないのではないかと、ということで、一番大切なのはお水なのです。ですが、ほとんどの病気は、水があれば回復しますということには、基本的にはなりません。

私の講演の時には、西洋医学の先生や、様々な先生がいらっしゃいますが、必ずこの質問を皆さまにします。今、お肉を召し上がったと思いますが、お肉を食べて胃の中に入り、胃酸で消化されますが、胃袋も実は肉なのです。では、何故胃袋は溶けないのでしょうか?分かる方は世界中どこにもいません。胃腸科の先生も分かりません。ですが、出てくる答えは二つあります。一つは、胃の内側に胃酸（塩酸）で溶けない膜があるとお答えになる方、もう一つは、溶けてしまうけど、即効的にすぐ回復されるという方です。どちらも定かではありませんが、中学の理科の実験を思い出していただくと分かります。胃の壁で電気分解しているのです。塩水を胃液で電気分解すると、酸は塩酸になります。これは、消化液です。アルカリウムは胃液に残ります。胃の内容物を粉々に消化している間に、胃液に胃酸が触れると一瞬にして中和します。ですから溶けないのです。

皆さまは「ピロリ菌」という言葉は聞いたことがありますか?ピロリ菌が付くと、胃潰瘍になります。電気分解する機能をピロリ菌が侵してしまったからです。侵された部位は、電気分離ができないので中性になります。中性の部分が、自分の胃酸で溶けてしまう…これが胃潰瘍です。もう一つ原因があります。脳から電気がきて電気分解するのですが、ストレスが溜まると胃液で電気分解できずに乱れてしまいます。胃の中で、電気分解するところと、しないところが出てきます。電気分解できないところは中性なので、胃酸で胃が溶けてしまいます。病気の中で一番大きいものは神経的なストレスです。昔ですと、恋煩いすると物が食べられない…というのも、実はこれが原因です。ストレスで胃が溶けてしまって、食べられなくなってしまうわけです。

エネルギーを理解すると、体のことは全て解ってきます。何故、病気が治らないか。エネルギーを利

用していない化学方程式で作られた化学物質は、エネルギーを理解していないので治らないということです。これが光子論の一つです。皆さまにやっていただきたいことは、38度～39度のお風呂に15分～20分入っていただき、やかんで沸騰させた白湯を温かいうちに飲んで下さい。飲むタイミングは、胃に物が入っていない状態が良いので、朝起床後、食事前に成人で1ℓぐらい飲んでいただきたい。これだけで、病気は防げます。病気になってしまった場合は、癌は機能性の温浴をすることです。自宅で出来るものが開発してあります。

これから日本が生きていく為には、「医療費を半減する」「病気にならない」ということが大切ではないかと思えます。本日はどうもありがとうございます。

第 1003 回例会 (6月5日) のご案内
フリートーキング例会